

『インド学チベット学研究』原稿募集について

インド哲学研究会
若原雄昭

インド哲学研究会では『インド学チベット学研究』第20号の原稿を下記の通り募集いたします。日頃のご研鑽の成果をぜひともご投稿ください。

当誌は第15号まで創刊者である神子上恵生先生の全面的な経済的援助により発行されてまいりましたが、第16号から独立採算で刊行することにいたしました。そこで今後安定的に雑誌を発刊し、主要研究教育機関への送付・インターネットでの公開などを継続してゆくために、執筆者にも発行費の一部をご負担していただくことといたしました。

つきましては論文の掲載にあたり、原稿の分量などに応じて掲載料を徴収いたします。また投稿データの形式は当会が規定するテフ形式とします。テフでの入稿が困難な場合は当会所定の書式によるワープロファイルでも入稿を受け付けますが、その場合データ加工のための手数料が別途必要となります。

記

<掲載誌> 『インド学チベット学研究』第20号

<発刊日時> 例年通り（年内発刊）を予定しております

<執筆申し込み> 2016年7月末日までに編集者まで投稿の意思表示をすること。その際、論文のタイトル、400字程度のアブストラクト、予想される原稿の分量をお知らせください。

<原稿締め切り> 2016年9月末日

<提出先> インド哲学研究会(詳細については事前に問合せください)

<分量> 自由。ただし誌面の占有量に応じて掲載料を徴収します。詳しくは《第20号投稿規定》(20kitei.pdf)を参照してください。

<提出形式> ①当会の規定に基づいたテフ形式、②当会が規定する入力方法に基づいたMS-Word形式。①、②いずれかとする。ただし②を選択した場合は通常に掲載料に加えて所定のデータ加工料を徴収します。詳しくは別紙の《第20号投稿規定》(20kitei.pdf)を参照してください。

<添付資料> ①ネイティブチェックを受けた英文レジュメ（当誌の誌面で半ページ程度）、②欧文タイトル、③論文キーワード(3-5個)、④執筆者の氏名、所属、連絡先。

<抜刷> 論文のPDFファイルを公開いたしますので執筆者で作製してください。希望者には業者の紹介と見積もりの連絡をいたします。

- ・論文掲載にあたっては編集責任者の査読をうけていただきます。
- ・雑誌の最終的なレイアウトについては編集者にご一任ねがいます。
- ・掲載された論文は、当会の規定に従ってウェブサイト上で公開することを承諾していただくものといたします。
- ・掲載にあたり執筆者が負担する料金は、原稿校了後、当会が指定する方法でお支払い願います。
- ・事務上の連絡は乗山(nrymstr@gmail.com)までお願いします。

以上